

2015年4月から「小児期悪性疾患治療後患者のインスリン抵抗性糖尿病発症機序の解明」(承認番号:M2021-341)にご協力いただいた方へ

研究課題名 「小児期悪性疾患治療後患者のインスリン抵抗性糖尿病発症機序の解明」

承認番号 M2021-341

研究期間 医学部倫理審査委員会承認後から2026年3月31日
(ただし5年後に更新予定)

研究の意義及び目的

小児悪性疾患の治療法の発展はめざましく、今日約80%の小児が治癒するとされています。しかし、悪性疾患の治療法は侵襲的なものが多く、思春期～成人期以降はそれらの後遺症に悩まされる方が多くいます。こうした小児期に悪性

研究の方法

本研究は、当院が研究代表機関となり、共同研究施設（広島大学など）とともに
行う研究です。0~15歳までの間に悪性疾患を発症し、2015年4月から2025年
3月の間に診察を受け、治療後10年以内の経過で若年で糖尿病を発症もしくは
耐糖能異常が疑われる患者さんを対象に、臨床情報の集積を行う予定にしてい
ます。予定症例数は本学10例、全体で20例です。

情報の匿名化と個人情報の保護

政府が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指
針」）に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特
定されない形で行います。

利用する者の範囲/共同研究機関名

東京医科歯科大学病院小児科 鹿島田健一
広島大学病院小児科 岡田賢

利用する者の範囲/共同研究機関以外の外部への提供

他の研究機関へ情報を提供する可能性もあります。その場合新たに研究計画書
を作成し、改めて倫理審査委員会に諮ります。

研究終了後の試料・データの扱い

東京医科歯科大学の定める研究活動における不正行為防止規則が定める期間
（10年間）保管します。保存期間終了後には匿名化した状態で破棄します。
本学および共同研究機関にて本揭示をもって同意を得て情報を保管させてい
ただき、将来、本研究に関連した解析研究に使用させていただきたいと思いま
す。この場合は、改めて倫理審査委員会にて承認された後、上述したような方法で
個人情報の保護に努めます。

研究への参加の同意と不同意について

本研究は本揭示をもって、個々の同意を得ることなく研究を行うものです。本
研究への参加を同意されない場合は、下記お問い合わせ窓口までご連絡下さい。

利益相反について

本研究は、東京医科歯科大学・小児科の運営費を用いて行われます。また研究を

実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※「利益相反」とは企業などから研究資金等が提供されることにより、研究結果や結果公表の正当性についての疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ窓口

